

アルバ - トに心を向けてみました。アルバ - トを思いました。私はとても幸せでした。全部全部受け入れられていました。たとえ田池留吉の前に立ちふさがる意識でさえもすべてが許しの中にありました。私の中のアルバ - トが優しく優しく伝えてくれていました。「私はあなたを許し受け入れています。」何とも言えない優しい思いでした。私の中に作った闇の思いも優しいアルバ - トの意識に誘われ、そしてともに歩いていけることが嬉しいと語っているようでした。私は過去よりすさまじいエネルギー - をこの心に蓄えてきました。いつもいつも田池留吉の存在を認めようとはしない、私の己一番は本当に半端なものじゃないということを知りました。そんな意識が今世肉を持ち、田池留吉と出会いました。そしてまた来世アルバ - トとともに肉を持ってきます。この心の中から噴出してくる、「田池、殺してやる」「アルバ - ト、殺してやる」の思いと出会うことは私の喜びでした。大きな大きな喜びでした。真実に目覚めていきたいとこの心の中から出てくる叫びでした。「私は意識、私は田池留吉、私はアルバ - ト、そしてともに4次元へと進んでいく意識です」とそう喜びの声を高らかに上げている、そんな気がします。心を落としている時間はありません。喜んで喜んでその闇と出会っていきます。私の中のアルバ - トを信じてただ歩いていきます。この心に感じる波動を信じてともに歩いていきます。